



コロナ禍後のコンサートブーム

北陸銀行 国際部
大連駐在員事務所
金春梅

1. はじめに

この夏はパリ2024オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、世界中が熱くなりましたが、中国ではさらに、音楽界の有名スターの全国コンサートがいくつも行われ、多くのファンが音楽イベントで盛り上がりました。

今回は、昨年から流行している中国のコンサート事情についてご紹介します。

2. 中国各地で開催されるコンサート

(1) コンサートのリアル開催

新型コロナウイルスが猛威を振るい、イベントの中止や行動制限が余儀なくされ、我慢を強いられることが多い時期がありました。コロナ禍後、再び会場でコンサートが開催されるようになると待ち望んでいた若いファンが押し寄せました。実際に声を上げて応援したり歌ったりすることでストレスが発散でき、リアル体験を通して多くの人々を満足させています。



大連市内中心部のショッピングセンターのビルにはコンサートの広告が目立つ
(大連事務所撮影)

(2) 行き過ぎた(?) コンサートブーム

人気歌手のコンサートになると入場券を入手することが難しく、入場料も比較的高いため(300元~2,380元(約6,000円~4万7,600円)、1元=20円換算(以下同様))、コンサート会場に入るための手段として資格試験を受けて警備員になる若者もいます。

警備員として会場に立ち入る以上、羽目を外して楽しむことはできませんが、「自分の好きな歌手が舞台上でパフォーマンスする姿を見て何千人もの観客と喜びを分かち合えることに変わりないので警備員資格を取った価値はある」と言う大学生の警備員もいます。

(3) コンサートによる経済効果

コンサートは、チケット収益だけでなく、その都市の観光消費にも大きな影響があります。各都市で有名歌手のコンサートを積極的に誘致しており、一部の都市では大規模なコンサートまたは音楽祭を開催すると最高300万元（6,000万円）の奨励金が出る誘致政策も実施しています。

4月、杭州で4日間にわたって開催された台湾の有名歌手のコンサートでは、宿泊・観光などで消費額が13億1,600万元（約263億2,000万円）に上ったと報道されています。5月末にも長沙市でワールドツアーが開催され、4日間で延べ15万人が来場し、9割の人が都市をまたいで訪れたということです。今や、若者にとっては「コンサートに行く」ことが旅の目的になっています。

3. おわりに

『『推し』を追いかけて、コンサートのためにその都市を訪れる』ことは、現代の若者の定番コースになっています。コンサートをきっかけに旅行に来た観光客へ、いかにしてその都市の魅力を感じさせコンサートがなくてもその都市のリピーターになってもらうかは、今後の課題になるでしょう。

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。
記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださいますようお願いいたします。

ほくりく長城会

長城メール

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
((株)人材情報センター内)
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565
E-mail: info@chojo-hokugin.jp